

**教科の結果より**

本校では、基礎基本の定着率を見取るために、通過率をもとに分析した。

(通過率:全国学力・学習状況調査において全国平均正答率 70%以上の問題について当該問題における学校の平均正答率が 70%以上を通過とし、当該問題のうち、何問通過しているかを割合で表したもの。)

<国語> 通過率 **57.1%** (全14問中 全国:7問 本校:4問) ※下記の数値(本校正答率/全国正答率)

●人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がある。
3三【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く(59.5/72.6)

●日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことに課題がある。
3四【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する(47.6/74.6)

<算数> 通過率 **37.5%** (全16問中 全国:8問 本校:3問) ※下記の数値(本校正答率/全国正答率)

●直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係についての理解に課題がある。

3(2)円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ(51.2/71.3)

●除数が小数である場合の除法の計算をすることに課題がある。

4(1) $540 \div 0.6$ を計算する(53.7/70.1)

児童質問紙より

【本校肯定的回答率 (全国差)】

設問内容	令和5年度	令和6年度
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか	67.7 (-14.1)	80.0 (-6.3)
自分には、よいところがあると思いますか	75.4 (-8.1)	77.8 (-6.3)
学校に行くのは楽しいと思いますか	90.8 (+5.5)	77.8 (-7.0)
人の役にたつ人間になりたいと思いますか	98.5 (+2.6)	88.8 (-7.1)

上記の調査内容をふまえ、とりくみを推進する。

- ・読解力を向上させるために、読書タイムを継続し、活字に触れる機会を確保する。
- ・基礎基本の定着のために、ドリル問題のやり直しを徹底する。
- ・つながりタイムを継続的に行い、子どもたちの「かかわりの力」の育成をめざす。
- ・「課題をつかむ」「自分で考える」「ペアやグループで話す」「自分の考えを発表する」「学習を振り返る」「次にいかす」の6つの学習活動を計画的に授業に取り入れる。
- ・いいところ見つけなど、子どもたちが互いの良さを認めることのできる活動を行う。
- ・年間を通し、各学年が系統立てた人権教育を行うことで、様々な視点に立った考えを育成する。
- ・子どもたちが自分の考えや思いを表現できる機会を多く持てるよう行事を工夫する。
- ・ふわふわ言葉を増やす取り組みや委員会活動での企画を通して、楽しいと思える学校をつくっていく。
- ・話しやすい雰囲気づくりのために、班活動やグループワークトレーニングを授業に取り入れる。
- ・いじめ防止教育の年間指導計画を再確認・精選し、取り組みを行う。
- ・スマイル交流会等、児童が主体的に学校行事や学年行事を企画・運営する機会を設定し、自己有用感を持てるようにする。
- ・通常学級の授業のユニバーサルデザイン化や個に応じた教材の工夫をする。

